

環境経営レポート

第6版

対象期間 ： 2023年5月1日～2024年4月30日

作成 ： 2024年 8月 8日

株式会社 セイフコ

エコプラネット長野

目 次

1. 環境経営方針-----	1
2. 組織の概要-----	2
3. 対象範囲 -----	8
4. 環境活動計画-----	9
5. 環境目標と実績-----	1 0
6. 環境活動 取組結果の評価・次年度の取組内容-----	1 1
7. 環境関連法規の違反・訴訟などの有無-----	1 2
8. 総括-----	1 3

1. 環境経営方針

株式会社 セイフコ	代表取締役 渡邊 忠隆
環境方針	制定日 2018年 8月 1日 改定日 2023年 8月 1日

環境理念

理想的な環境の実現の第一歩は、
生命の共有を実感する社会 (biotic community) の創造
 にある。よって、身近な標語として、
「あなたへ 子供たちへ 健全な世紀を贈りたい！」
 を掲げ、全従業員が一致協力し、環境保全の範となるよう活動する。

環境方針

㈱セイフコは、産業廃棄物の中間処理および収集運搬を目的とした事業活動において環境理念と相和した行動指針を定め、環境負荷をできるだけ少なくする活動を推進する。

1. 地球環境の保全を推進するため、㈱セイフコが活動できる組織を整備する。
2. 環境関連の法律・規制および地域協定等の要求事項を遵守する。また共に地球環境保全をめざす者として、地域の環境教育プログラムに施設見学会等をアピール・提供して相互理解を図り、地域と融合した施設として社会貢献する。
3. 環境教育・社内広報活動を実施して従業員への環境方針の周知徹底と意識向上を図る。また、より良い維持管理のために、廃棄物・環境その他関連の資格取得を奨励し拡充に努める。
4. 受託廃棄物処理に関して再資源化を検討・推進し、あわせて処分場の延命化を図る。また LCA 評価手法の導入等により、より環境負荷の少ない廃棄物処理基準を確立し、理想の廃棄物処理を行なうべくシステムを開発推進する。
5. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動の質的向上・環境管理システムの継続的改善により汚染の予防・環境浄化に努める。
6. 紙・電気・燃料等の資源については、減量・再利用・再生を励行し CO²排出量の削減等の地球温暖化対策に努める。
7. この環境方針は、一般に公開する。

2. 組織の概要

(1) 商号 株式会社 セイフコ

(2) 代表者名 渡邊 忠隆

(3) 所在地 エコプラネット富士（不溶化・資源化施設・物流センター（運輸事業））
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田 4840 番地
TEL. 0555-30-4841 FAX. 0555-30-4845
E-mail : info@safeco-trans.jp
URL : http://www.safeco-trans.jp

エコプラネット長野（建設系中間処理・資源化施設）
〒381-0026 長野県長野市松岡二丁目 5 番 15 号
TEL. 026-214-6291 FAX. 026-214-6290

(4) 設立年月 平成 22 年 5 月

(5) 資本金 9 百万円

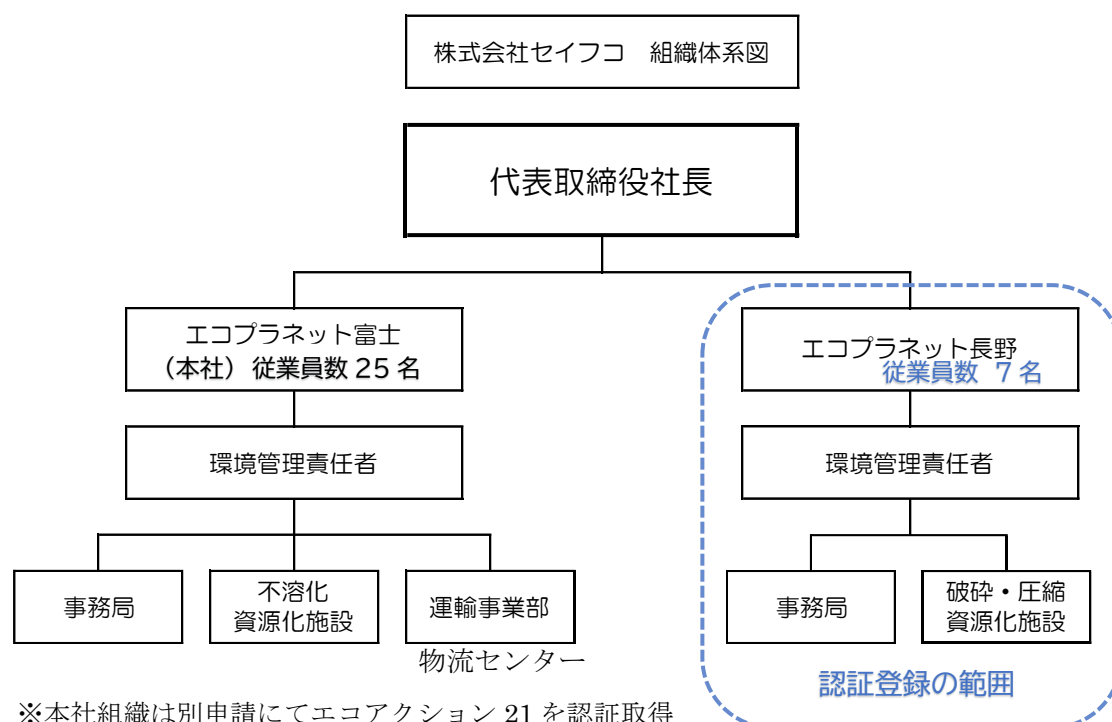
(6) 売上高 18 億円

(7) 従業者数 32 名

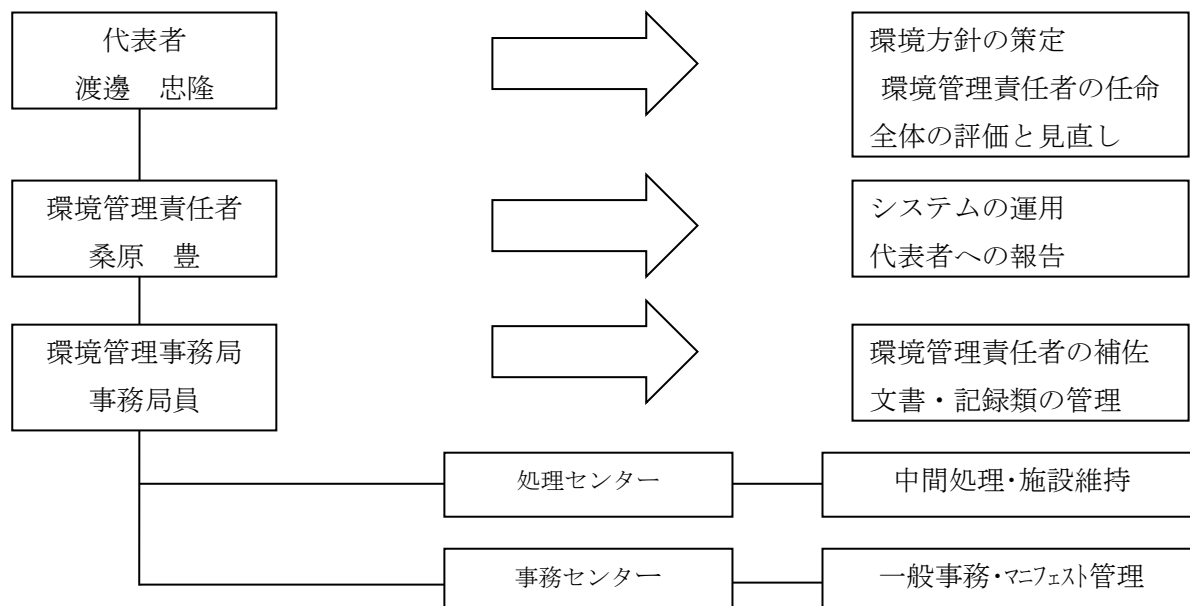
(8) 事業概要 ・ 産業廃棄物収集運搬
 ・ 特別管理産業廃棄物収集運搬
 ・ 産業廃棄物中間処理
 ・ 特別管理産業廃棄物中間処理
 ・ 再資源化製品製造・販売
 ・ 汚染土壌処理

(9) 認証・登録の対象範囲
 ・ 産業廃棄物中間処理業

(10) 組織図



(11) エコアクション 21 推進体制 (エコプラネット長野)



(12) 積替保管

許可種類	普通産業廃棄物	特別管理産業廃棄物
面積	268.6 m ² (積替：174.1 m ² 、保管：94.5 m ²)	11.25 m ²
種類及び保管上限	混合廃棄物 (廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、 ゴムくず) 64.2 m ³ (金属くず、ガラスくず類、がれき類) 16.2 m ³ 石綿含有産業廃棄物 (廃プラスチック類、ガラスくず類、がれき類) 8.1 m ³ 水銀使用製品産業廃棄物 (蛍光灯、HIDランプ、放電ランプ) 0.2 m ³	廃石綿等 8.1 m ³
積み上げる高さの上限	屋内	屋内

(13) 保有施設

施設の種類	設置場所	能力
圧縮・結束施設	エコプラネット長野	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず ガラスくず類 紙くず 木くず 繊維くず がれき類 64t/日 (8t/時・稼働 8 時間)
破碎施設 (二軸)	エコプラネット長野	廃プラスチック類 2.03t/日 ゴムくず 1.44t/日 金属くず 0.90t/日 ガラスくず類 2.41t/日 紙くず 2.86t/日 木くず 2.26t/日 繊維くず 2.03t/日 がれき類 2.26t/日 (以上いずれも稼働 8 時間)
破碎施設 (一軸)	エコプラネット長野	廃プラスチック類 4.944t/日 (0.618t/時・稼働 8 時間)

(14) 保有車両

車両名	保有台数	所属部署
バックホー 0.45	1	エコプラネット長野
バックホー 0.25	1	エコプラネット長野
ホイールローダー	1	エコプラネット長野
フォークリフト 3t クランプ	1	エコプラネット長野
フォークリフト 3t バケット	1	エコプラネット長野
フォークリフト 3t 回転	1	エコプラネット長野

(15) 産業廃棄物処理実績（エコプラネット長野）

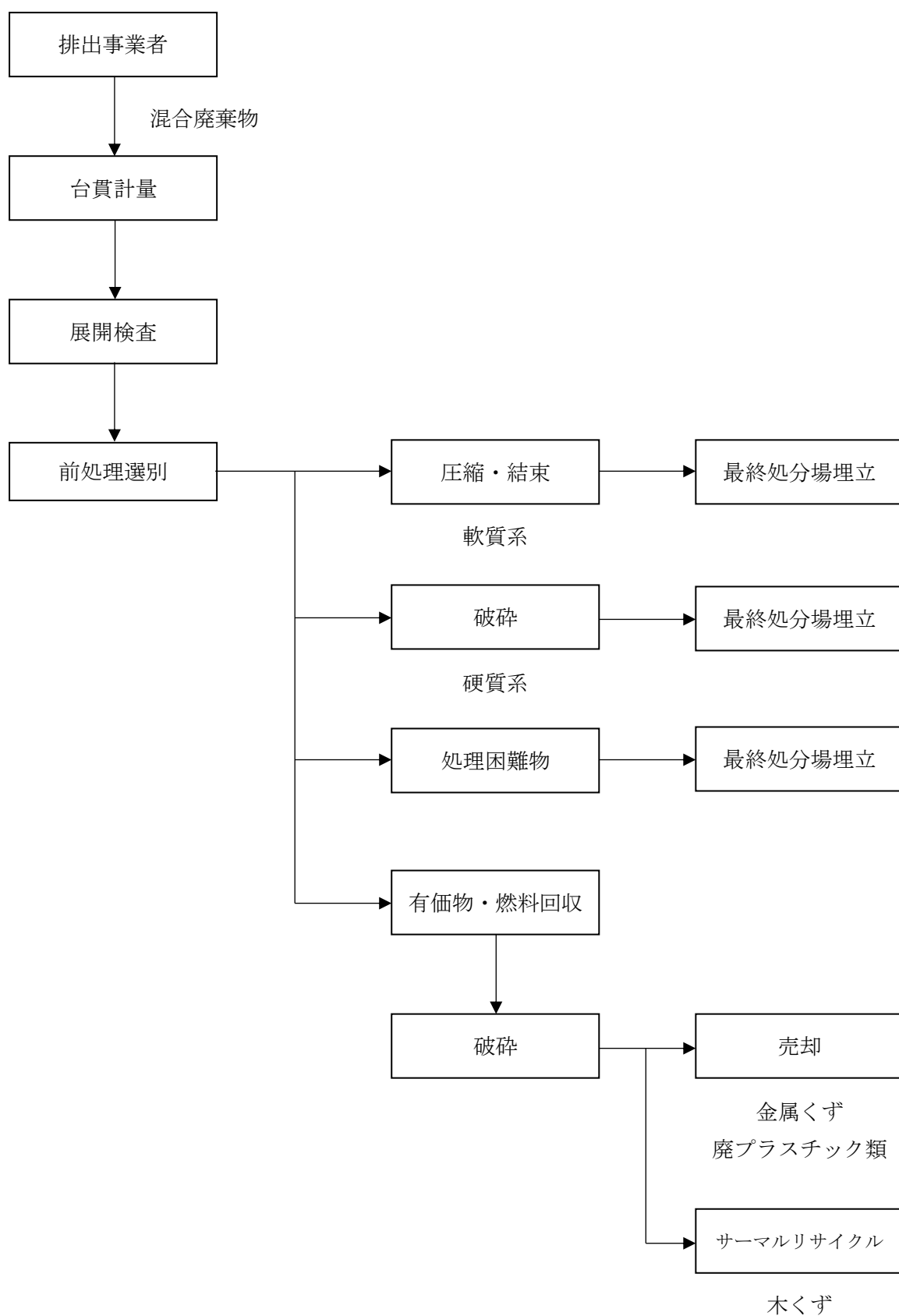
中間処理の方法	種類	処理実績の期間			
		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
破砕 圧縮・結束	廃プラスチック類	2,165.0 t	2,244.9 t	2,174.2 t	1294.4 t
	木くず	0 t	7.8 t	1.1 t	1.8 t
	ガラスくず類	69.1 t	168.2 t	172.3 t	140.8 t
	がれき類	100.0 t	35.5 t	37.4 t	44.5 t
	混合廃棄物	7,739.6 t	7,247.1 t	6,442.8 t	4236.3 t
	繊維くず	0 t	0 t	0 t	0 t
合計		10,073.8 t	9,703.4 t	8,827.8 t	5717.8 t

(16) 許可取得状況

	許可行政	許可番号	許可年月日	有効期限	備考
処分	山梨県	01925158446	令和3年3月14日	令和10年3月13日	産廃
	山梨県	01975158446	令和3年3月14日	令和10年3月13日	特管産廃
	長野市	9521158446	令和3年4月1日	令和8年3月31日	産廃
汚染 土壌	山梨県	01910010001	令和3年3月14日	令和8年3月13日	

	許可行政	許可番号	許可年月日	有効期限	備考
収集 運搬	宮城県	00400158446	令和3年9月16日	令和8年9月15日	
	秋田県	00504158446	令和3年4月11日	令和8年4月10日	
	秋田県	00554158446	令和3年7月1日	令和8年6月30日	特管
	福島県	00707158446	令和3年9月21日	令和8年9月13日	
	茨城県	00801158446	令和3年4月13日	令和7年12月2日	
	茨城県	00851158446	令和4年8月12日	令和9年6月12日	特管
	栃木県	00900158446	令和4年5月30日	令和9年5月29日	
	栃木県	00950158446	令和4年5月30日	令和9年5月29日	特管
	群馬県	01000158446	令和5年5月20日	令和10年5月19日	
	群馬県	01050158446	令和4年6月8日	令和9年6月7日	特管
	埼玉県	01100158446	令和5年7月19日	令和10年5月30日	
	千葉県	01200158446	令和5年6月13日	令和10年5月28日	
	千葉県	01250158446	令和4年7月28日	令和9年7月27日	特管
	東京都	1300158446	令和5年4月22日	令和10年4月21日	
	東京都	1350158446	令和4年4月17日	令和9年4月16日	特管
	神奈川県	01400158446	平成5年8月7日	令和10年6月6日	
	神奈川県	01450158446	令和4年7月27日	令和9年5月15日	特管
	新潟県	01509158446	令和2年11月10日	令和7年11月9日	
	新潟県	01559158446	令和4年6月28日	令和9年5月30日	特管
	山梨県	01900158446	令和5年6月17日	令和10年6月16日	
	山梨県	01955158446	令和4年4月10日	令和9年4月9日	特管
	長野県	2009158446	令和4年4月6日	令和9年4月5日	
	長野県	2059158446	令和4年4月6日	令和9年4月5日	特管
	長野市	9511158446	令和3年2月3日	令和8年2月2日	
	長野市	9561158446	令和3年8月2日	令和8年8月1日	特管
	静岡県	02201158446	令和5年4月1日	令和10年3月31日	

(1 7) 産業廃棄物の処理工程図



3. 対象範囲

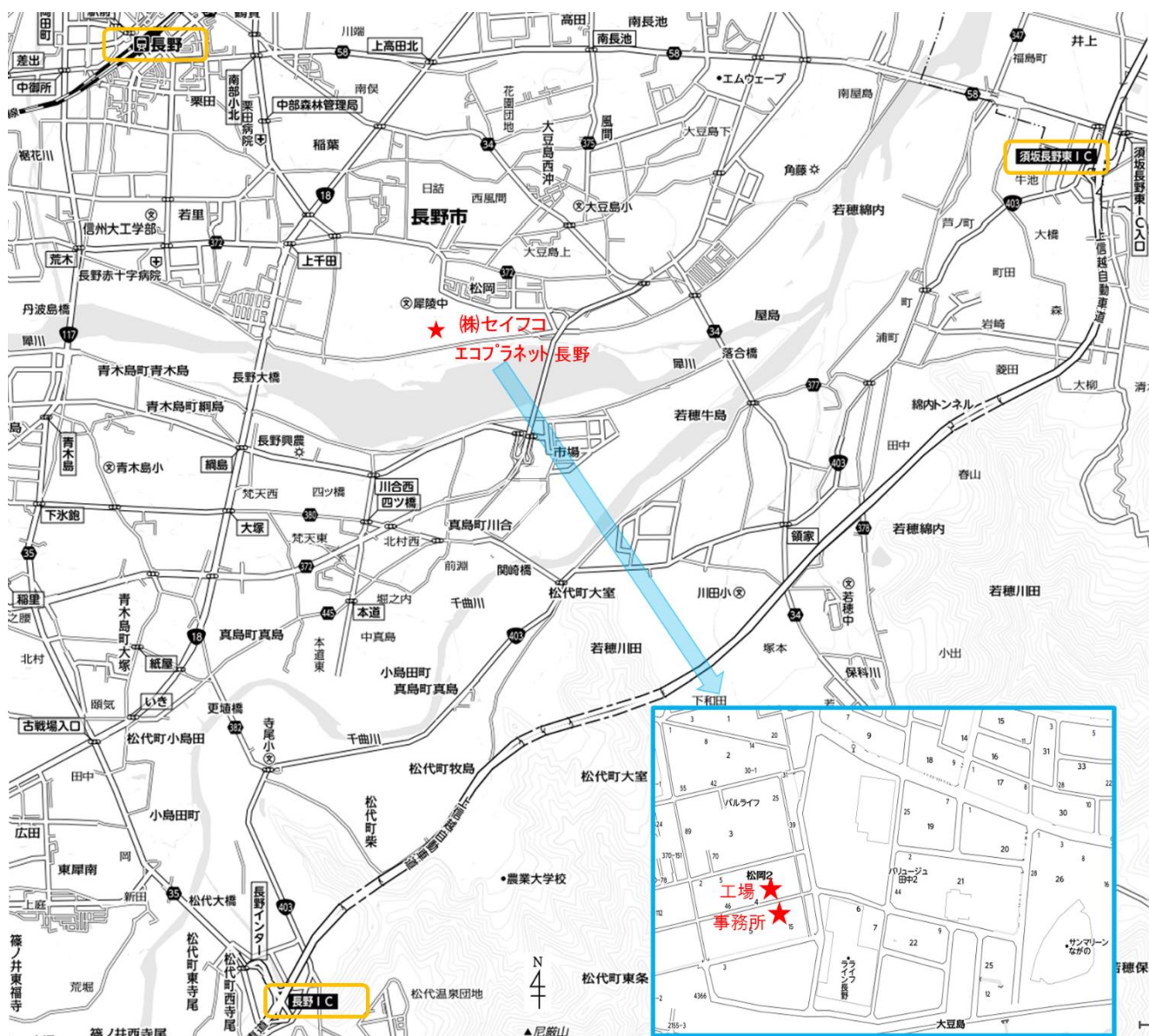
(1) 取組の対象範囲

株式会社 セイフコ エコプラネット長野

(2) 活動

産業廃棄物の中間処理

(3) アクセスマップ



4. 環境活動計画

No.	環境目標	実施事項
1	電力使用量の削減 (CO ₂ の削減)	・ 昼休みの節電（消灯） ・ 休憩室と事務所のLED化 ・ エアコンの温度設定冷房28度、暖房20度 ・ コンプレッサのエアリークのチェック
2	燃料使用量の削減 (CO ₂ の削減)	・ 重機の日常点検（毎日/土曜日） ・ 重機の無駄なアイドリングの抑制 ・ 手選別作業と重機選別作業の分離 ・ 重機のエコ操作の励行 ・ ガソリン使用量の把握
3	水資源使用量の削減	・ 節水ラベル貼付 ・ 重機洗車時の地下水利用
4	廃棄物排出量削減	・ 分別と再生利用の促進 ・ 計量と分別状況の点検 ・ コピー用紙使用量の削減（電子化/裏紙活用）
5	埋立処分場負荷の削減	・ 再資源化先への出荷量の把握 ・ 再生資源の分別推進
	環境教育・訓練	・ 会社周辺のゴミ拾い ・ 工場前の側溝（公共排水）の清掃 ・ 教育訓練の実施（安全集会） ・ 消火訓練の実施

5. 環境目標と実績

当社の環境方針に沿って、地球環境への影響評価の結果に基づき、以下の目標を設定して活動を推進しています。

・上段目標、下段実績と評価

環境目標	基準値 2017年度 2017.5～2018.4		2022年度 2022.5～2023.4		2023年度 2023.5～2024.4		2024年度 2024.5～2025.4	
1 電力使用量の削減	87,964 (kwh)	目標	83,566	5%	82,686	6%	※6 80,624	7%
		実績	79,391	○	78,480	○		
2 燃料使用量の削減 軽油使用量 ※1	19,680 (ℓ)	目標	18,696	5%	18,499	6%	18,302	7%
		実績	14,003	○	12,206	○		
	ガソリン使用量 ※2	(ℓ) 実績	258		198			
CO2 排出量の削減 ※3	92,015 (kg-CO2)	目標	87,414	5%	86,494	6%	85,032	7%
		実績	73,578	○	68,299	○		
3 水使用量の削減	22.00 (㎡)	目標	20.9	5%	20.7	6%	20.5	7%
		実績	14.0	○	15.00	○		
4 一般廃棄物排出量の削減 (可燃のみ) ※4	170.80 (kg)	目標	169.1	1%	167.4	2%	165.7	3%
		実績	195.1	×	166.8	○		
5 埋立処分場負荷の削減 再資源化先へ出荷量把握 ※5	(kg)	実績	20,017		25,737			
環境教育・訓練 活動の推移 社会貢献活動	(回)	目標	2		2		2	
		実績	2	○	2	○		

※1 軽油使用量の目標値は、基準年度の2017年度とは作業方法と重機の稼働率が大きく異なる為、現状に近い状態の期間（2018年3～8月）を選定し、その平均値を目標基準値に設定した。

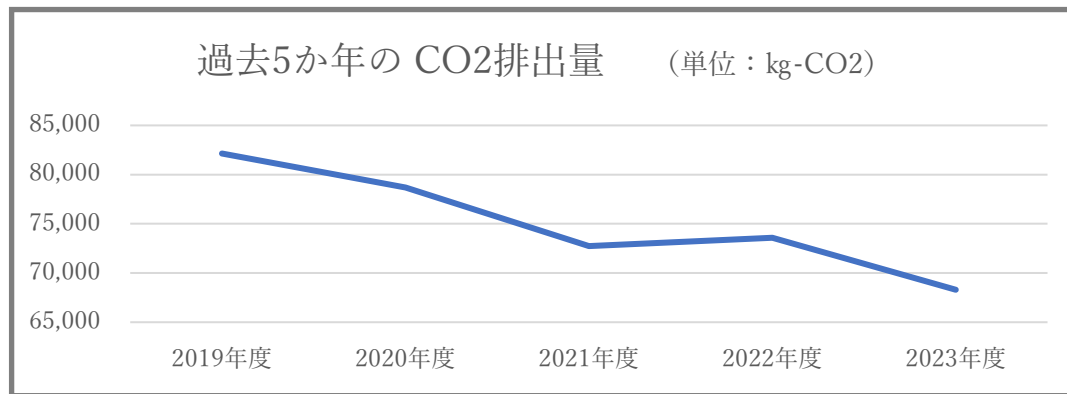
※2 ガソリン使用量は少なく、減少傾向にある為目標設定はしない。実績のみ把握。

※3 CO2 排出量算出基準 （使用化石燃料）×排出係数＋購入電力×CO2 排出係数
（排出係数は2017年度 ㈱新出光社調整後 0.459kg-CO2/kWh と、中部電力㈱0.424kg-CO2/kWh を使用）

※4 一般廃棄物排出量削減の目標値は、2022年度から2021年度の排出量を目標値に設定した。

※5 埋立処分場負荷の削減は受け入れた廃棄物から再資源物を分別し出荷している為、目標設定無し

※6 電力使用量の削減は、供給先の関係で1か月遅れ（2017年4月～2018年3月）の実績を目標値に設定した為月毎の実績も一か月遅れで評価していた。2023年3月から供給先を変え即時に使用状況が確認できるようになり2024年度から正確な期間（2017年5月～2018年4月）の実績である86,693kwhを目標値に設定した。



6. 環境活動 取組結果の評価・次年度の取組内容

実施事項	評価	取組の結果	次年度の取組
1. 電力使用量の削減		年度の目標値は達成出来	引き続きデマンド値を意識して機械を稼働させる。休憩室の照明のLED化に取り組み、電力消費を抑える。
昼休みの節電（消灯）	◎	ているが、月別で見ると	
エアコンの適切な温度設定	△	未達成の月があった。	
コンプレッサのエア漏れのチェック	○	デマンド値を意識した機	
休憩室と事務所のLED化	◎	械の稼働に取り組めた。	
2 燃料使用量の削減		目標値は達成出来ていて	夏期の重機選別では水温上昇による遅れがみられるので、選別手順や選別環境の見直しをみんなで考え取り組んでいく。
重機の日常点検	◎	重機選別の時間短縮意識	
重機の無駄なアイドリングの抑制	○	も向上しているが、工夫	
手選別と重機選別作業の分離	○	次第ではまだ削減出来る	
重機のエコ操作の励行	○	と感じる。	
ガソリン使用量の把握	◎		
3. 水資源使用量の削減		使用範囲は決まっている	地下水を利用して、埃の飛散防止のため散水をする。
節水ラベル貼付	○	ので削減は難しいが、意	
重機洗車時の地下水利用	◎	識して使用できていた。	
4. 廃棄物排出量削減		電子帳簿ソフトの導入で紙	引き続きお茶がうの再利用をしていく。日々の業務の中でペーパーレスを常に考えていく。
分別と再生利用の促進	○	利用が減少した。お茶がう	
計量と分別状況の点検	◎	再利用とｺｯﾅ5類移行で一	
コピー用紙使用量の削減	○	般廃棄物が激減した。	
5. 埋立処分場負荷の削減		再資源物は主に金属くず	排出業者の方で有価物の分別強化が考えられるが、引き続き再資源化に努める。
再資源化先への出荷量の把握	○	だが、出荷量は減少傾向	
再生資源の分別推進	○	にある。	
・環境教育・訓練		側溝清掃が今年度1回し	側溝清掃は実施する月を予定して決め、2回は行うようにする。 外部への埃の飛散を抑え、自主的にゴミ拾いを行う。
会社周辺のゴミ拾い	○	かできず廃棄物が詰まり	
工場前側溝（公共排水）清掃	△	そうになっていた。消火	
教育訓練の実施（安全集会）	◎	器訓練を実施し、取り扱	
消火訓練の実施	○	い方法を覚えた。	

活動事例紹介

一般廃棄物削減の為、お茶の出がらしを乾燥させ花壇の肥料にしています。	定期的に従業員全員で消火器の取り扱いと消火設備点検を実施しています。
	

7. 環境関連法規の違反・訴訟などの有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

当社の業務に適用となる義務規定(一部それ以外を含む)の主な環境関連法規等とその主な内容。

注) チェック欄…○：遵守 ×：不遵守 ✓：該当なし確認 (―：判断なし)

法規制等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
廃棄物処理法	受託した産業廃棄物の適正処理	契約書・許可書	○
	マニフェストの管理(発行・保管)	報告書の提出 年1回/6月	○
	産業廃棄物管理責任者と技術管理者の設置	終了証・認定書	○
消防法	消火器、屋外消火栓、火災報知器、誘導標識 非常電源の設置及び定期点検	報告書の提出 年1回/8月	○
火災条例	指定可燃物の貯蔵、取扱	届出書	○
騒音及び振動 防止法	破碎機1台 粉砕機1台	届出書	○
計量法	トラックスケールの定期点検	証明書(2年毎)	○

(2) 違反及び訴訟の有無

上記環境関連法については、遵守チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを確認しました。

また、過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟もありませんでした。

8. 代表者の総括

[取り組み状況の評価結果]

1. 問題点の是正及び予防、リスクへの対応

- ・ヒヤリハット・ハインリッヒの法則等を根拠に、小さな問題点を起こり得る事故の原因として捉えるミーティングをしている。
- ・報告書を作成し次の安全集会で効果確認を実施している。

2. 前回 審査指摘事項への対応

- ・本誌「環境経営レポート」に掲載されている内容の改善について
「2. 組織の概要」で、エコプラネット富士を含めた全社組織の概要が記載されているが「エコプラネット長野」の概要を明確にするため、「(10) 組織図」にエコプラネット長野の従業員数を追記し、読み手に判るよう改善した。
- ・代表者の見直しについて、代表者が実施体制を見直し必要な指示を与え、確実に評価できるよう、「代表者による全体の評価と見直し」に「実施体制」を追記した。

[環境経営システムの各要素]

前年度からずっと未達成の状況から抜け出せずにいた一般廃棄物の排出量(kg)を減らすため水分の多いお茶の出がらしを乾燥させることにより削減し達成に繋がれたことは大きな成果といえる。

電力削減については、前年度から継続してきた月毎の高圧電力最大デマンド値を下げるため意見交換を行い、機械を同時に稼働させることを極力避けて行うことを実施した。その結果、前年度より年度平均値を抑えることができた。各自電力が上がる状況を把握し、日々取り組んできたことが結果として出たと思うので次年度も継続していく。